

準備号

2000. 10



# LETTER

●「ぐりふあんレター」は、きょうとグリーンファンドのニュースレターです。

省エネ情報・催し物の案内・自然エネルギーに関する動き・会員同士の交流、そしてきょうとグリーンファンドの活動などを、みなさんにお伝えます。投稿も大歓迎！ スタッフ一同お待ちしております。

春に発足したきょうとグリーンファンド準備会も秋を迎えました。その間、運営委員会や事務局会議を重ね、パンフレット作り、セミナー開催、アースデー参加などの活動を続けてきました。そのなかでもNPO法人の申請書類を京都府に提出し受理された(7月28日)ことが、ひとつの大きな出来事でしょう。順調に行けば、4ヶ月後には「特定非営利活動法人きょうとグリーンファンド」としての活動を始めることが出来そうです。

きょうとグリーンファンド準備会



●グリーンファンドとは、「自然環境に配慮する」という意味がこめられた「グリーン（みどり）」と「ファンド（基金・資金）」、日本語では「みどりの基金」となります。

●「きょうとグリーンファンド」は、環境を守るために必要な社会コストを、応分に負担しようという市民が、節電・省エネ分程度の額をファンド（基金）に寄付し、その基金を利用して自然エネルギーの発電所を作っているというものです。

このようにして市民の手で自然（再生可能）エネルギーの発電所づくりをすすめ、省エネ型の持続可能な社会の実現を目指します。

☆月々の節電・省エネ分が、実際にいくらになるかはあなた次第。きょうとグリーンファンドはあなたの節電・省エネを応援します。

☆自然（再生可能）エネルギーは、太陽光のように無尽蔵で、化石燃料を燃やす時に出る二酸化炭素・硫黄酸化物・窒素酸化物などの大気汚染の原因になる物質を出さないエネルギーを言います。

このような自然（再生可能）エネルギーには、太陽光や太陽熱・風力・中小水力・バイオマス・地熱・雪氷などいろいろありますが、きょうとグリーンファンドでは、京都の自然条件（風況）や設備のコスト・メンテナンスが容易・分散型である・災害時でも使えることが多いなどを考え、当面は太陽光発電を進めています。

きょうとグリーンファンドでは、

**一般コース**と**特定コース**

をつくっています。

●一般コース：基金が太陽光発電設備を設置できる額に達すると、きょうとグリーンファンドの取り組みに賛同してくださる準公共的な施設（幼稚園・保育園・作業所など）に、共同で発電設備を設置します。基金が集まるまでは、どこに設置するかは未定です。

●特定コース：設置する施設をあらかじめ決めてから、基金を募集します。

自分が知っている地域の施設、例えば、「うちの子供が通っている△△幼稚園にみんなで太陽光発電設備をつけたい」「あの作業

所にソーラー発電をつけるのなら寄付をしようと思う」といった思いを形にします。きょうとグリーンファンドは募集のお手伝いや、大人向け・子供向け自然エネルギー教室などを開催し、地域での自然エネルギーへの理解や普及を進めます。

★関心のある方は、きょうとグリーンファンド事務局までご連絡ください。

●セミナー「省エネルギーで豊かな暮らしを」

2000.6.30 ー山田国広さんー

・環境に良いものは経済的にも○、という考え方 ーエコロジーはエコノミー

・省エネをして浮いたお金を何に使うのか。

・グリーンファンドの取り組みは今までの消費者運動の質を高めるもの、倫理的な意味をもつ。より豊かな生き方につながる。

・何が「豊か」なのか。ーその人の生き方、在り方、何にお金を使ったか、その人が何をしたか、によって決まる。

・環境・経済・福祉を同時に考えていく必要がある。ーどう環境負荷を減らしていくか。

・家庭の電力消費量は、エアコン・冷蔵庫・テレビ・電灯で6割以上を占めている。

・省エネの工夫

瞬間電力 × 消費時間 = 電力消費量

↓

(有効率 × 規格電力) × 時間 = 電力消費量

有効率・規格電力・時間をそれぞれ減らすことで電力消費量を減らしていく。

①有効率（規格いっぱいを使うと1）を押さえる  
ex.冷蔵庫：ドアの開閉は少なめに、物は詰め込まない。裏側は風通しを良くする。

テレビ：音量は低めに、明るさは小に。

エアコン：冷房の設定温度は1℃上げる。

②規格電力を下げる

ex.冷蔵庫150w（価格8万円）を60wの省エネタイプ（13万円）に買い替えると、商品の値段は高くても電気料を考えると2年半ぐらいで元が取れる。

③時間を減らす

ex.見ないテレビはスイッチを切る。いらない灯りは消す、など。

（まとめ龍池・大西）

☆これからは賢い省エネ情報をどんどんお伝えしたいと思っています。お楽しみに…。☆

## 基礎探語 ▶ グリーン電力基金

全国の電力会社10社は1日から一斉に「グリーン電力基金」を発足させた。

消費者は一口500円の寄付を電気料金と一緒に毎月支払う。電力会社は消費者から集まったのと同程度のお金をつけて基金に納める。基金は入札で、風力発電や太陽光発電をする事業者に助成する。市民参加で環境にやさしいエネルギーを普及させる仕組みだ。

ところが、長年自然エネ

ルギー促進に取り組んできた市民団体は、一応歓迎しながらも、「何かおかしい気がする」と感じている。

電力会社は自らも寄付をするとはいえ、料金徴収を代行するだけで、自然エネルギーの導入目標は示さない。基金を運営するのは、電力会社や役所のOBが天下る公益法人だ。ただ寄付を集めるだけなら電力会社でなくてもできる。

自然エネルギーは昨年ご

ろから急速に関心が高まり、促進のための政策が競って発表されている。

自然エネルギー促進議員連盟は、電力会社に自然エネルギーの買い取り条件を決めさせる法案をまとめた。通産省は、電力会社に一定比率の自然エネルギー導入を義務づける制度を検討している。

こうした主導権争いから出てきた基金に、市民団体が白けるのも無理はない。

享月 日 発行 2000年(平成12年)10月2日

ちょっと不思議な？基金です。

基金の運営をする人たちはどんな人？

どんなところへ助成をするの？

誰がそれを決めるの？

電力会社が、自然エネルギーを自前で進めないのはなぜ？

通産省の、電力会社への自然エネルギー導入義務付け制度とのかかわりは？

「自然エネルギー促進法」はどうなるの？

と数々の疑問が、次々と湧いてきます。

きょうとグリーンファンドでは、かかわりのある団体とともに、10月2日電気事業連合会に要望書を出しました。



### 使っていない家電、プラグ抜いたら

電源を切ったビデオデッキで時計やリモコン待ちに使う電力など、家電製品の使用時以外の「待機電力」が家庭の消費電力量の九・四%を占めることが二日、通産省の外郭団体、省エネルギーセンターの調査でわかった。一世帯あたり年間九千八百円の電気代に相当する。テレビや電子レンジなどは使用時以外には電源プラグを抜く習慣をつけられ、全体の待機電力は四二%削減でき、年に四千四百円の節約になるといふ。

五十一世帯での計測と九百三十三世帯へのアンケート

### 待機電力、消費量の約9%

省エネセンター調べ

トから算出した。待機時の消費電力量は一世帯あたり年に約四百ワット時で、国内の全家庭では年間約百八十億ワット時と、大型の原子力発電所二、三基分に当たる計算になる。待機時の消費電力を機器別にみると、衛星放送受信機(二・三%)、ガス給湯器(八・四%)、オーデオコンポ(六・五%)、有線放送受信機(六・四%)の順に大きかった。また、現在使用中の機器が最新型に置き換われば、待機電力は四三%減らせる指摘している。

節約、一世帯で年1000円にも

2000年(平成12年)8月3日 木曜日  
享月 日 発行 10月

## きょうとグリーンファンド

【設立】2000年3月  
 【所在地】中京区寺町二条下ル  
 【会員数】40人  
 【連絡先】075・241・0550

# 京都NONPO案内

>11<

「テレビを見ないときは必ず主電源を切る」「部屋全体でなく、必要な場所だけ明るくする照明に」  
 ちよつとした工夫で浮かせた電気代をクリーンな太陽光発電設備の普及に生かしませんか。今春発足した「きょうとグリーンファンド」(龍池妃都美代表)はこんな運動に取り組んでいる。

一カ月の電気代が平均約一万円とする。その五割分を節電できれば五百円が浮く。その十二カ月間分にあたる六千円を一口に、小規模な発電設備を作るための募金を呼びかけてきた。市民の募金で小規模の風力発電設備を設ける活動を進める北海道の生協を参考にしている。

一九八六年四月に発生したチェルノブイリ原発事故は広島型原爆の五百倍の放射線物質による汚染を引き起こした。汚染は世界的に広がり、当時、乳幼児を抱え、子育てに追われていた母親らが、わが子が食べる食品の汚染を考えるグループをつくった。一方、福井県・若狭地方での原発の集中立地や、事故が起こったときに琵琶湖が汚染される

## 発電設備普及呼びかけ



自然エネルギーの利用法について学んだフォーラムII今年6月、上京区で写真提供・きょうとグリーンファンド

危険性を問題視する活動に  
 取り組んできた女性たちも  
 いた。

そんな反原発運動にかか

わる人々や、いまの生活を  
 見直してこうと考えるメ

## 安全な電力 少しの節約から

ンバーらが「身近な形で代替エネルギーの普及活動ができないか」と立ち上がったのが、ファンド設立のきっかけだった。

三月に設立準備会を発足。環境問題に取り組み市民団体のメンバーや大学教授らを招き、省エネルギーや太陽光、風力などの自然エネルギーについて考えるフォーラムを相次いで開いてきた。

募金活動には賛同者が着々と増え、すでに五十口弱、約三十万円が寄せられている。

事務局の山本時子さん(左)は「主婦感覚で言うと、六千円をただ取られるのはつらい。しかし、むだな電力を節約し、安全なエネルギー利用に役立てる。足元から社会のあり方を見直そうという発想なんです」と話す。

来年中には活動のPRも兼ね、最初の太陽光発電設備を児童館や保育園に設置したいという。

## ● 法人化申請しました！

京都府知事 荒巻禎一様宛に「特定非営利活動促進法第10条第一項の規定により、下記の通り特定非営利活動法人を設立することについて認証を受けたいので、申請します。」

と言うわけで、定款・役員名簿・就任承諾書・住民票・宣誓書・社員名簿(NPOでは会員のことをこういうらしい)・設立趣意書・事業計画書(初年度と次年度)・収支予算書(初年度と次年度)などなどの書類を揃えて、提出しました。

7月28日、受理されましたので4ヶ月後位には認証が受けられる予定です。

新しい体制は、理事長/龍池妃都美・副理事長/板倉豊・副理事長/青野宏子・理事/阿部えり・大西啓子・小坂勝弥・鈴木範子・田浦健朗・能村聡・林敏秋・深尾昌峰・丸谷一耕・山田貴美子、監事/木村守となっています。

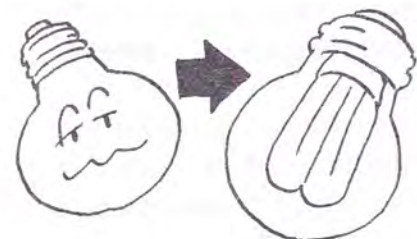
2年間の任期で、再任は妨げないということになっています。

## ● 京のアジェンダ21パイロット事業募集に応募しました。

京のアジェンダ21フォーラムによる5つの重点取り組み(①省エネルギー・省資源のシステム作り②グリーン・エコノミック・ネットワークづくり③エコロジー型新産業システムづくり④エコツーリズム⑤環境にやさしい交通体系の創出)を具体化する事業の募集がありましたので、きょうとグリーンファンドも応募しました。

採択されれば、フォーラムとの共同事業となり、助成金も出るとか。

省エネと自然エネルギー普及を目的とした私たちの取り組みが採りあげられることを楽しみに待ちたいと思います。(結果は10月中にでる、?らしい)



### 白熱電球から電球形蛍光灯ランプへチェンジ。

白熱電球と同じような暖かい色合いをもつ電球形蛍光灯ランプにつけ替えると、同じ明るさで約75%の省エネルギーになります。部屋の広さにあった照明の目安は、電球形蛍光灯ランプで1畳あたり10~15W、白熱電球の場合は1畳あたり30~40Wです。

## ● ぐりふあん日誌



3. 17 きょうとグリーンファンド準備会設立総会
4. 03 第1回運営委員会
4. 22 アースデー参加
4. 24 第2回運営委員会
5. 08 第3回運営委員会
5. 29 第4回運営委員会
5. 29 第5回運営委員会
6. 08 セミナー  
「広げよう自然エネルギー」  
講師:林 敏秋・能村 聡(会員)
6. 19 第6回運営委員会
6. 30 セミナー「省エネルギーで豊かな暮らしを」  
講師:山田 国広(京都精華大)
7. 03 第7回運営委員会
7. 28 NPO法人化申請、受理される。
9. 01 第8回運営委員会
9. 05 特定コース(法然院プロジェクト)打ち合わせ
9. 25 第9回運営委員会
9. 29 京のアジェンダパイロット事業申請
10. 02 「グリーン電力基金」について、電気事業連合会に要望書提出。

## 省エネワンポイント

### 電球形蛍光灯ランプと白熱電球のコスト試算例(6,000時間)

■電球形蛍光灯ランプ15W(寿命6,000時間×1個)  
ランプ代/ @1,800円×1個=1,800円  
電気代/15W6,000時間×22.4円/kWh=2,016円  
計3,816円

■白熱電球60形57W(寿命1,000時間×6個)  
ランプ代/ @160円×6個=960円  
電気代/57W6,000時間×22.4円/kWh=7,661円  
計8,621円

差額4,805円

(電球形蛍光灯ランプ15Wの方がお得です!)

## これからの予定

### ◆ 見学会

きょうとグリーンファンド連続講座第3回  
「自然エネルギースポットめぐり」  
日時：2000年10月27日（金）  
13：00～16：00  
集合場所：烏丸今出川 南西角  
（地下鉄 今出川駅6番出口）  
13：00集合

コース：①京都市立新町小学校 →  
②上京消防署 →  
③こども未来館 解散

コーディネーター：林 敏秋  
（きょうとグリーンファンド準備会メンバー）

参加費：500円

以外にも身近な公共施設に太陽光発電設備が設置されていました。どんな使われ方をしているのか、省エネにどのくらい役立っているのか、実際に見てみます。

### ◆ NPOきょうとグリーンファンド設立の集い

「きょうとグリーンファンド」の法人化申請は、7月28日に京都府に受理されましたので、11月中には認証される予定です。晴れてきょうとグリーンファンド準備会は「準備会」という殻を脱ぎ捨てて「きょうとグリーンファンド」となるわけです。

そこで、それを記念する集まりを今計画中です。

日時：2000年12月1日（金）  
18：30～

場所：京都市大学のまち交流センター  
キャンパスプラザ京都  
京都市下京区西洞院通塩小路下る  
JR京都駅ビル駐車場西側

Tel 075-353-9111

Fax 075-353-9121

講演：池内 <sup>さとし</sup>了さん（名古屋大学教授）

詳細は未定ですが、きょうとグリーンファンドの船出の日です。それにふさわしい内容となるよういろいろ企画中。

### ◆ 「市民が進める温暖化防止2000」 —気候ネットワーク主催—

に参加します。  
日時：2000年12月9日（土）  
～10日（日）

場所：京都市大学のまち交流センター  
キャンパスプラザ京都

きょうとグリーンファンドは、「自然エネルギー」の分科会と展示コーナーに参加します。

☆ いつもは忙しいけれど、この日は手伝えそう、この企画だけならスタッフになろうという方、ご連絡をお待ちしています。

### ★編集後記★

「みずは命」と水を考えて来た時、「原発」が水を打ちのめした。水力、風力、太陽光など自然エネルギーで発電を身近に共有したい。こんな思いを持つ人々と出会った。

同じ目的のための「協力」ばかりでなく、「実現」させるために、心を合わせて、さあ1歩。

（山本時子）

ずっと原発反対と言い続けてきましたが、否定するばかりではなく、肯定型の取組は元気が出ます。クリーンなエネルギーを選びたくても、今のシステムではどうにもなりません。ささやかでも市民主導の発電所作りにかかわっていきたく思います。

（龍池妃都美）

やっと、やっとお便りをお届けすることができそうです。初めての「ぐりふあんレター」如何でしょうか。お便りください。そして、編集部員、大、大、大募集！

（大西啓子）

いま自分で出来ること…そして、したいこと。きょうとグリーンファンドで、みんなといっしょに模索していきたいと思います。

（青野宏子）

### 発行・編集

きょうとグリーンファンド準備会事務局  
604-0932

京都市中京区寺町二条下ル妙満寺前町 446

カバヤビル3F 京都グ味/センター内

Tel/Fax 075-241-0550